



東亞合成株式会社

2013年12月期
第2四半期決算説明会資料

2013年8月9日

目次

	ページ
2013年第2四半期決算概要	2
連結業績推移	3
連結部門別売上高・営業利益	4
連結営業外損益・特別損益	5
連結貸借対照表	6
連結会社概況（第2四半期実績）	7
2013年連結業績予想	8
2013年連結業績予想（部門別）	9
連結経営参考数値	10
連結経営参考数値の推移	11
【中期経営計画の進捗状況】	
基礎化学品事業：重要課題の進捗状況	12
アクリル製品事業：重要課題の進捗状況	13
機能製品事業：重要課題の進捗状況	14
樹脂加工製品事業：重要課題の進捗状況	15

2013年第2四半期決算概要

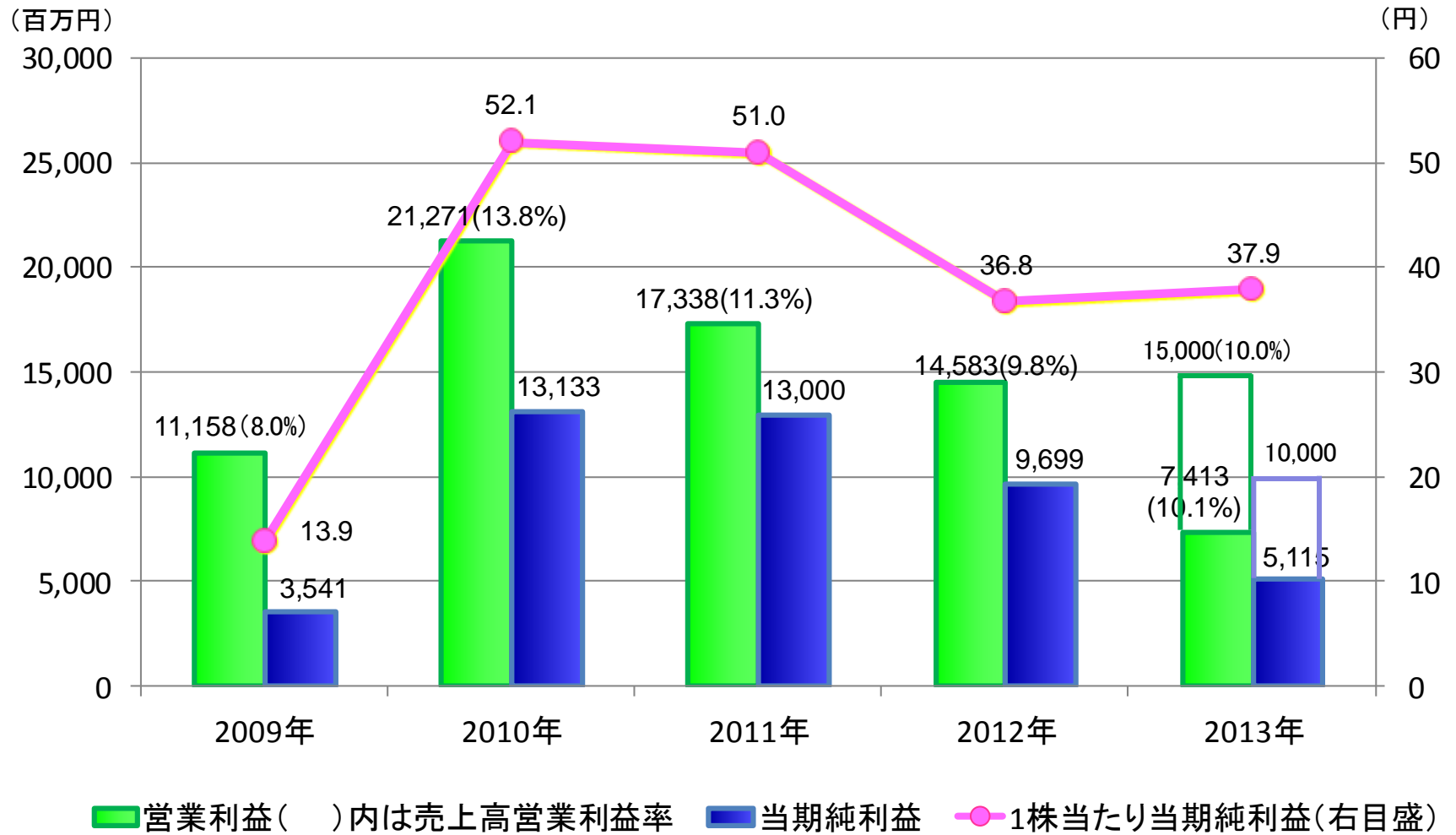
連結の範囲

連結子会社数 : 22社 (鶴見曹達と日本純薬を1月1日付で吸収合併)

持分法適用会社数 : 2社 (前期より変更なし)

	2012.2Q	2013.2Q	増 減	
売上高 (百万円)	72,852	73,643	791	1.1%
営業利益 (百万円)	6,867	7,413	546	8.0%
営業利益率	9.4%	10.1%	—	0.7%
経常利益 (百万円)	7,048	7,968	920	13.1%
四半期純利益 (百万円)	4,899	5,115	216	4.4%
1株当たり四半期純利益 (円)	18.58	19.41	0.83	4.5%
第2四半期配当(年間) (円)	5.0(10.0)	5.0(10.0)	—	—

連結業績推移



売上高(連結部門別)

(百万円)

	2012.2Q	2013.2Q	売上増減		
			数量差	単価差	増減額
基礎化学品	23,565	22,679	△ 1,124	239	△ 885
アクリル製品	26,627	28,436	1,213	596	1,809
機能製品	7,977	8,104	△ 69	196	127
樹脂加工製品	13,098	12,754	△ 288	△ 55	△ 343
その他	1,583	1,667	84	0	84
合計	72,852	73,643	△ 185	976	791

営業利益(連結部門別)

	2012.2Q		2013.2Q		増減
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	
基礎化学品	2,266	9.6%	2,047	9.0%	△ 219
アクリル製品	2,612	9.8%	3,199	11.2%	586
機能製品	1,429	17.9%	1,548	19.1%	118
樹脂加工製品	503	3.8%	512	4.0%	8
その他	△ 7	—	41	—	48
全社・消去	62	—	65	—	3
合計	6,867	9.4%	7,413	10.1%	546

連結営業外損益・特別損益

(百万円)

営業外損益	2012.2Q	2013.2Q	増 減
受取利息・配当金	260	276	16
持分法による投資利益	104	130	26
為替差益	9	122	113
雑収入	174	275	100
支払利息	△ 76	△ 67	8
環境整備費	△ 106	△ 42	63
遊休設備費	△ 60	△ 65	△ 5
雑支出	△ 126	△ 74	51
合計	180	554	374

【営業外損益】

・持分法利益

	2012.6	2013.6	差異
エルマーズ・トウアゴウセイ	141	147	6
中部液酸	△37	△17	20
	104	130	26

・為替レート(対、米ドル)

2012年6月末	2012年12月末	2013年6月末
@79.31	@86.58	@98.59

特別損益	2012.2Q	2013.2Q	増 減
補助金収入	287	222	△ 64
受取補償金	275	—	△ 275
抱合せ株式消滅差益	87	—	△ 87
固定資産処分損	△ 54	△ 82	△ 27
投資有価証券評価損	△ 2	—	2
合計	593	140	△ 452

【特別損益】

・補助金収入

設備投資に対する自治体等からの補助金収入。

2012年:大分ケミカル アクリル酸設備の新設

MTエチレンカーボネート EC設備の新設

2013年:徳島工場 ガス拡散電極電解槽の導入

・受取補償金(2012年)

福島原発事故による東京電力からの補償金

連結貸借対照表

(百万円)

科 目	2012.2Q	2013.2Q	増 減
現 預 金	17,096	18,986	1,889
売 掛 債 権	43,434	42,621	△ 813
有 価 証 券 ①	14,000	19,000	5,000
棚 卸 資 産	15,989	16,188	198
そ の 他 流 動 資 産	2,765	2,517	△ 248
固 定 資 産	66,968	67,130	162
投 資 有 価 証 券 ②	14,316	16,572	2,255
繰 延 税 金 資 産 ②	2,735	1,646	△ 1,088
そ の 他 固 定 資 産	4,148	4,171	23
資 産 合 計	181,451	188,831	7,379
支 払 債 務	14,878	15,265	386
借 入 債 務	12,220	13,194	974
未 払 法 人 税 等	4,064	2,548	△ 1,516
そ の 他 負 債 合 計	14,049	15,077	1,028
負 債 合 計	45,211	46,084	873
純 資 産 合 計 ③	136,240	142,746	6,506
負 債 ・ 純 資 産 合 計	181,451	188,831	7,379

【貸借対照表】

- ① F C F のプラスによる留保資金の1部を有価証券で保有
- ② 株式市況回復により投資有価証券の時価評価益が増加
- ③ 利益剰余金 3,797百万円増加

キャッシュフローの状況

	2012.2Q	2013.2Q	増 減
営 業 C F	15,159	10,536	△ 4,622
投 資 C F	△ 6,686	△ 3,511	3,174
F C F	8,473	7,025	△ 1,447

連結会社概況（第2四半期実績）

（百万円）

	会社名	部門	資本金	持分 (%)	売上高		営業利益		四半期純利益	
					12/2Q	13/2Q	12/2Q	13/2Q	12/2Q	13/2Q
1	（鶴見曹達）	基礎化学品	480	100	4,947	—	10	—	96	—
2	東亜テクノガス	↓	400	100	2,228	2,067	169	185	109	137
3	（日本純薬）	アクリル	351	100	805	—	15	—	274	—
4	（大分ケミカル）	↓	450	91.15	3,914	5,042	2	4	141	△ 10
5	トウアコウセイシヨウホール	↓	4,270	100	4,970	5,232	205	336	231	130
6	MTアクアポリマー	↓	460	51	5,706	5,325	522	429	321	299
7	台湾東亜合成	↓	92	100	377	417	8	18	9	24
8	東昌化学	↓	52	51	904	949	24	23	10	△ 21
9	張家港東亜迪愛生化学	↓	600	60	952	754	104	36	81	△ 8
10	トウアコウセイ アメリカ	機能製品	885	100	1,005	1,282	167	152	181	139
11	（アロンエハーグリップ）	↓	148	100	806	206	0	0	△ 5	△ 4
12	（アロン包装）	↓	10	100	116	105	5	△ 1	3	△ 1
13	東亜合成香港	↓	126	100	127	139	12	13	13	132
14	東亜合成珠海	↓	106	100	126	145	18	13	13	9
15	（MTエチレンカーボネート）	↓	480	90	168	138	0	0	30	△ 3
16	アロン化成	樹脂加工	4,220	100	12,348	12,319	442	453	394	285
17	ミクニプラスチックス	↓	315	100	816	741	59	54	58	52
18	東亜興業	その他	25	100	626	635	29	34	15	29
19	TOAエンジニアリング	↓	50	100	608	696	2	△ 3	0	1
20	東亜ビジネスアソシエ	↓	40	100	627	653	37	29	24	18
21	TGコーポレーション	↓	174	100	6,364	6,378	178	178	106	109
22	（東亜物流）	↓	16	100	2,767	2,862	19	25	12	15
23	（四国東亜物流）	↓	10	70	613	506	1	2	1	2
24	（北陸東亜物流）	↓	10	90	81	99	0	2	0	1
	単純合計				52,001	46,690	2,028	1,982	2,117	1,335

（ ）の会社は、ほぼ全量が当社との取引

2013年連結業績予想

(百万円)

	2012年間実績(A)	2013上期実績	2013下期予想	2013年間予想(B)	増減(B-A)
売上高	148,203	73,643	76,357	150,000	1,797
営業利益	14,583	7,413	7,587	15,000	417
営業利益率	9.8%	10.1%	9.9%	10.0%	0.2%
営業外損益	666	554	46	600	△ 66
経常利益	15,250	7,968	7,632	15,600	350
特別損益	△ 732	140	△ 340	△ 200	532
税前利益 (a)	14,518	8,109	7,291	15,400	882
法人税等及び同調整額 (b)	4,466	2,860	2,240	5,100	634
税負担率 (b)/(a)	30.7%			33.1%	2.4%
少数株主利益	352	133	167	300	△ 52
当期純利益	9,699	5,115	4,885	10,000	301
< 参考 >					
為替レート (円/US\$)	¥86.58	¥98.59	¥100.00		
ナフサ価格 (円/kl)	¥55,075	¥64,650	¥64,000		

(注) ナフサ：kl当たり1千円の変動で±300百万円。 為替：1円/USDの円安で△60百万円。

2013年連結業績予想（部門別）

（百万円）

売上高

	2012実績	2013予想	増 減	増減要因
基礎化学品	47,435	48,000	565	[増収]液化塩化水素
アクリル製品	54,354	55,500	1,146	[増収]アクリル酸エステル、MMP、ポリマー [減収] 高分子凝集剤
機能製品	16,350	16,500	150	[増収]機能性接着剤
樹脂加工製品	26,978	27,000	22	[増収]管工機材 [減収]ライフサポート製品
その他	3,084	3,000	△ 84	
合 計	148,203	150,000	1,797	

営業利益

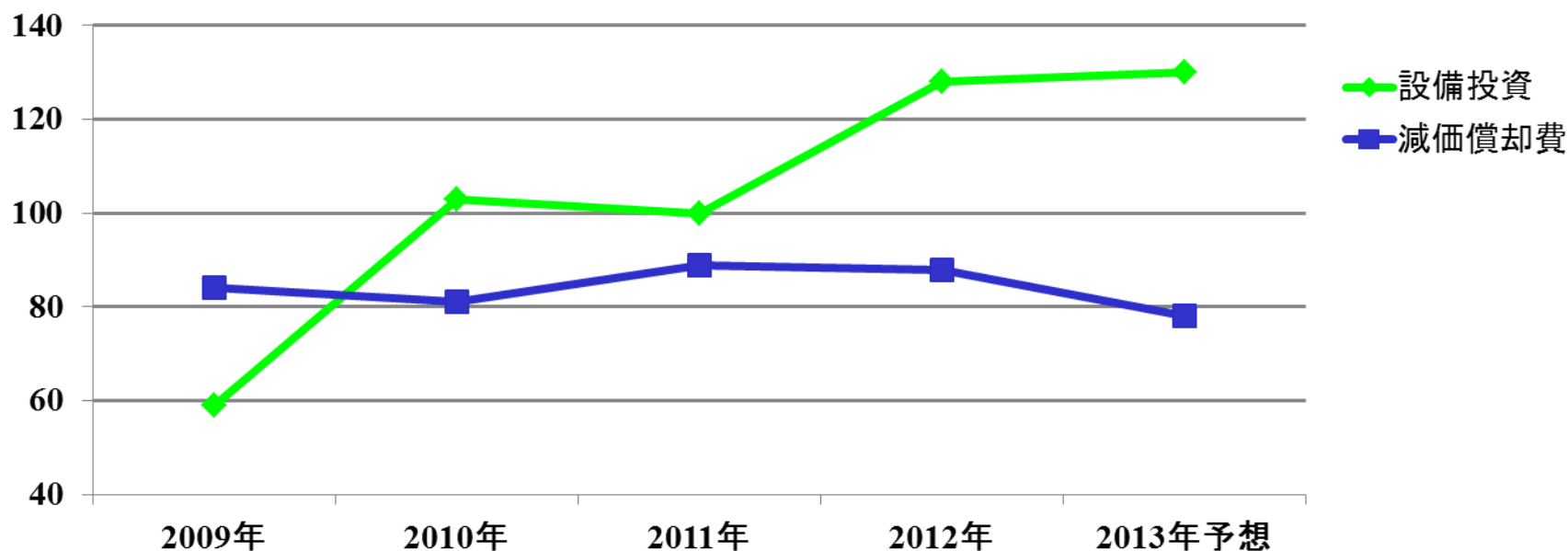
	2012実績(営業利益率)		2013予想(営業利益率)		増 減	増減要因
基礎化学品	4,413	(9.3%)	4,200	(8.8%)	△ 213	[減益]原燃料価格の上昇
アクリル製品	5,764	(10.6%)	6,300	(11.4%)	536	[増益]アクリル酸エステル、ポリマー、MMP
機能製品	3,011	(18.4%)	3,100	(18.8%)	89	[増益]機能性接着剤
樹脂加工製品	1,279	(4.7%)	1,300	(4.8%)	21	[増益]不採算品整理
その他	115	-	100	-	△ 15	
合 計	14,583	(9.8%)	15,000	(10.0%)	417	

連結經營參考數值

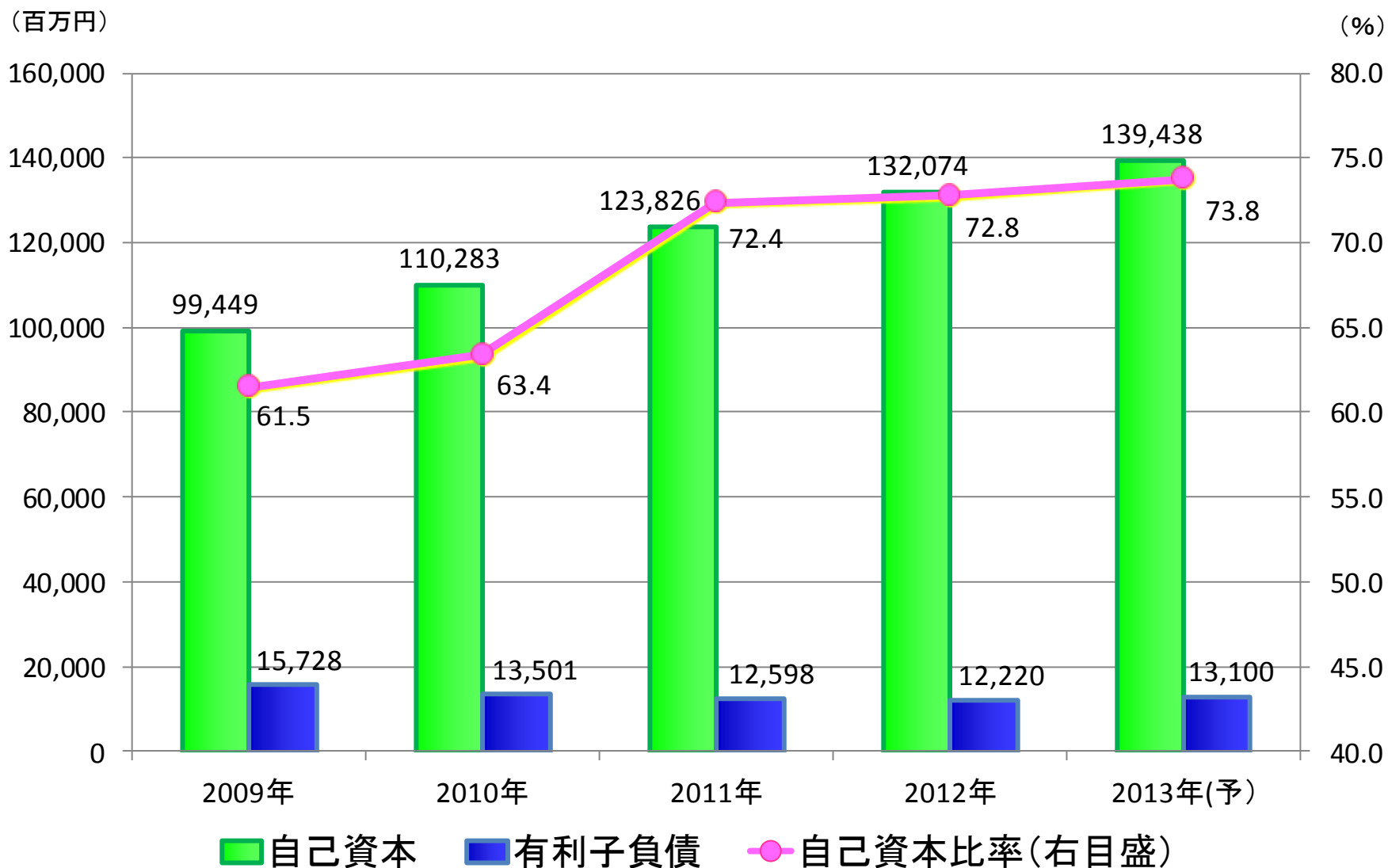
(億圓)

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年予想
減価償却費	84	81	89	88	78
設備投資	59	103	100	128	130
試験研究費	45	45	46	44	44
海外売上高	201	285	249	226	250
有利子負債	157	135	125	122	131

(億圓)



連結経営参考数値の推移



基礎化学品事業：重要課題の進捗状況

中期経営計画

東亜合成と鶴見曹達電解事業の一体運営深化

- ◆ 鶴見曹達を吸収合併し、2013年1月より東亜合成の横浜工場とした。一体運営を図りながら、名古屋工場、徳島工場との電解操業の最適化、合理化を進めていく。
- ◆ 新技術のガス拡散電極法の実証試験を完了。7月から徳島工場にて商業運転を開始。今後は他工場への展開も検討する。

高純度、高機能製品の事業拡大

- ◆ 高純度液化塩化水素は、アジア需要拡大の中、増産のためのボトルネック解消を進め、世界トップメーカーとしての地位を維持する。

戦略製品の積極展開

- ◆ 国内トップメーカーの次亜塩素酸ソーダは、高品位な水道用殺菌剤の需要の伸びに応じた増強を順次行っていく。

アクリル製品事業：重要課題の進捗状況

中期経営計画

川上・川下製品での収益力を伴った事業拡大

- ◆ アクリル酸新規設備(8万トン/年)は2014年1月に完成の予定。
- ◆ 日本純薬を吸収合併し、2013年1月より東亜合成の広野工場とした。高機能アクリルポリマーの拠点として、合理化を推進する。
- ◆ 川下展開加速に向けた社長直轄の部門横断型プロジェクトチームを発足した。当社グループの保有技術をベースに、成長分野における潜在ニーズの掘り起しを集中的に行う。
- ◆ シンガポール工場で生産している水溶性ポリマーは、東南アジアでの販売が堅調のため、引き続き同地域を中心に拡販を行う。

革新的生産技術によるコスト競争力強化

- ◆ 光硬化型樹脂「アロニックス」は、高純度品の生産技術を確立後、日本・台湾・中国3拠点への設備導入を進める。

機能製品事業：重要課題の進捗状況

中期経営計画

一般用瞬間接着剤ブランド強化による収益拡大

- ◆ 接着速度をより速くした「EXTRAゼリー状」は、全国でTVCMを行い、店頭設置率の上昇に伴って、順調に販売量が増加した。
- ◆ 上海のコンビニで集中展開している「Krazy Glue」は、さらなるブランド認知度の向上を図るため、販促活動を積極的に実施した。

工業用接着剤の事業拡大

- ◆ アロンエバーグリップ2工場の高岡工場への集約は5月に完了した。スマートフォン向け等で好調な機能性接着剤の新設備も本格稼働しており、高岡工場での合理化と増産による収益拡大を目指す。

その他の機能製品

- ◆ 建材製品は、都市部マンション改修や公共物件を重点的に活動し、販売が順調に伸びている。
- ◆ 「ケスモン」の消臭機能を活かした当社グループ独自の消費者向け製品の開発に注力した。

樹脂加工製品事業：重要課題の進捗状況

中期経営計画

パイプ事業の抜本的改革

- ◆ 中部圏での拡販や継手・マスなど当社グループ得意分野との相乗効果が得られるパイプ販売に引続き注力した。
- ◆ 工場間での設備移設を伴う最適生産体制の検討を開始し、収益構造の改善に努める。

介護用品のブランド力強化、新製品開発による事業拡大

- ◆ 業界内で先行してポータブルトイレのJIS取得品を発売。浴槽手すりなど新製品も上市した。下期も順次新製品を投入する。
- ◆ 「安寿」ブランドの潜在需要家層への認知向上に向けたラジオCMを開始した。今後もブランド浸透に向けて様々な活動を行う。

東亜合成のリソースとアロン化成の技術を融合

- ◆ 東亜合成独自の抗菌剤「ノバロン」を使用したポータブルトイレで抗菌機能と安全性を保證する「SIAA^(注)」認証を取得した。

(注)SIAA: 抗菌製品技術協議会